

平成17年5月6日

各位

本社所在地 大阪市北区松ヶ枝町6番22号
会社名 日本基礎技術株式会社
代表者名 取締役社長 湯澤 栄次
(コード番号 1914)
問い合わせ先 専務取締役 磯 景安
TEL (06)6351-5621

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年11月17日の中間決算発表時に公表した平成17年3月期(平成16年4月1日~平成17年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年11月17日発表)	23,000	980	480
今回修正予想(B)	26,200	1,220	300
増減額(B-A)	3,200	240	180
増減率	13.9%	24.5%	37.5%
(ご参考) 前期(平成16年3月期)実績	24,144	492	417

2. 修正の理由

当社の売上高の計上基準は、従来、工事完成基準を適用していましたが、当期より、長期大型工事(工期1年以上かつ請負金額3億円以上)について、工事進行基準を適用することに変更しました。これにより、受注高は減少しましたが、工事進行基準による完成工事高が増加したこと等により、売上高、経常利益ともそれぞれ前回発表予想を上回る見込となりました。なお、この変更に伴ない、従来の方法に比べ、売上高は1,840百万円、経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ420百万円増加しております。

また、現在の厳しい経営環境に対応し、財務の健全性を実現するため、保有資産の見直しを行った結果、福利厚生施設として保有している土地、建物及び構築物について処分することに決定したため、固定資産評価損500百万円を特別損失として計上することといたしました。

た。なお、この他、特定破綻懸念先に対する貸倒引当区分の正常債権への変更により特別利益として戻入益が 180 百万円発生した他、清算手続き中でありました当社の直営施工子会社が清算終了し、それに伴ない清算益 130 百万円が発生、特別利益に計上しましたが、当該評価損を計上しました結果、当期純利益につきましては、前回発表予想を下回る見込となりました。

以上